

介護脱毛

介護脱毛とは介護されるかもしれない将来に備え、あらかじめアンダーヘアを脱毛しておくことを言い、現在ニーズが年々増加してきています。

介護を提供する側にとっても、受ける側にとっても大きく3つメリットがあります。

メリット

① 排泄介助がしやすくなる ② 衛生状態が良くなる ③ 肌トラブルを予防できる

・自力での排泄が難しくなった際に、アンダーヘアが残っていると毛に排泄物が絡まりやすいため、拭き取りに時間が掛かりトイレ介助やおむつ介助に時間が掛かる。

あるアンケート調査によると、介護経験のある236名うち70.3%の方が、「アンダーヘアがあると排泄介助に時間が掛かる」と答えている。

⇒介護脱毛を行うとアンダーヘアが少ない状態になり排泄物が目視しやすくなり、拭き取りや排泄介助がしやすくなる。

・デリケートゾーンは蒸れやすく雑菌が繁殖しやすい場所であり、介護が必要な状態の方は免疫力が下がっていることが多いため感染症を引き起こすリスクも高くなる。

⇒介護脱毛を行うとアンダーヘアが少ない状態になり、蒸れにくく衛生面が保たれるため雑菌が繁殖しづらく尿路感染症などのリスクを軽減できる。

・アンダーヘアがある状態での排泄物拭き取りの際には力が加わりやすく、皮膚が傷つき、デリケートゾーンの痒みやかぶれなど肌トラブルを起こしやすい。

⇒介護脱毛を行うとアンダーヘアが少ない状態になり蒸れにくく、痒みやかぶれの発生を抑えられ肌トラブルを予防できる。

デメリット

・一般的な脱毛と大きくは変わらないが、アンダーヘアが白髪になると、毛に含まれるメラニン色素に反応するタイプの脱毛機器(当院採用機器)では、白髪には効果はない。

・施術時に痛みや、肌トラブルが起こる可能性がある(頻度は一般的な脱毛と同程度)

・施術中に恥ずかしさを感じる人もいる

排泄介助は、一般的に介護を提供する側も受ける側も肉体的に負担を感じるだけでなく、大きな精神的負担を感じる人が多いです。介護脱毛をして排泄介助にかかる時間が短くなれば、負担を感じる時間が少なくて済むため、双方の負担やストレスが軽減することができます。